

**平成 30 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ギュムリ市失業者支援施設整備計画」供与式の実施**

令和 3 年 2 月 26 日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ギュムリ市失業者支援施設整備計画」(供与限度額:26,923 米ドル(3,015,376 円))の供与式が、アルメニア教会シラク教区社会教育センターにおいて行われました。本式典には、山田淳在アルメニア日本国大使、ルーベン・サノヤン・ギュムリ第一副市長、ミカエル・アジャパヒャン・アルメニア教会シラク教区主教等が出席しました。

本件の被供与団体であるアルメニア教会シラク教区社会教育センターは、2019 年から 2020 年にかけて、「シラク州における失業者に対する職業訓練プログラム」を実施しました。これは同州ギュムリ市において、最も社会的脆弱性の高い失業者を対象に職業訓練を実施し、就業を促すものです。本計画は、上記プログラムに関連し、年間約 105 名の失業者に理容・美容、料理などの分野で職業訓練を提供しているギュムリ市の社会教育センターを改修するとともに、職業訓練に必要な機材を整備するものです。

式典の冒頭、アジャパヒャン主教は歓迎の辞を述べるとともに、山田大使及び日本の人々に対し、今回の支援への謝意を表明しました。

これに対し、山田大使は本件が成功裏に実施されたことに祝意を述べるとともに、施設やインフラの改善は経済成長及び地域の発展にとり重要であり、今回の支援は草の根レベルで持続可能な開発を実現させる試みの一例であると述べました。また、職業訓練や関連する教育は国の社会的・経済的発展の鍵であり、同センターはギュムリ市及びシラク州の多くの人々に学問的・職業的成功をもたらすものであると述べました。

その後、山田大使から職業訓練の参加者に修了証書を手渡すとともに、アジャパヒャン主教及びサノヤン副市長から山田大使に対し感謝状が授与されました。



社会教育センターを訪問する山田大使



供与機材を用いて調理実習を行う
職業訓練の参加者



訓練参加者が作ったケーキにナイフを
入れる山田大使



アジャパヒャン・ギュムリ主教による
歓迎の辞



謝辞を述べる山田大使



アジャパヒャン主教より
感謝状を受け取る山田大使



サノヤン・ギュムリ第一副市长より
感謝状を受け取る山田大使



職業訓練参加者に修了証書を手渡す
山田大使